

試験研究成果普及情報

部門	果樹	対象	普及
課題名：ニホンナシ新品種「あきあかり」「秋麗」「王秋」の特性			
[要約] 「あきあかり」は、8月中下旬から9月上旬に収穫できる赤ナシ、「秋麗」は、8月中旬から8月下旬に収穫できる青ナシ、「王秋」は、10月中下旬に収穫できる赤ナシである。各品種とも品質が極めて優れているため、本県内への普及が期待できる。			
キーワード（専門区分）栽培（研究対象）果樹類－ニホンナシ （フリーキーワード）ニホンナシ、新品種、あきあかり、秋麗、王秋			
実施機関名（主査）千葉県農業試験場果樹研究室 （協力機関）千葉県原種農場千葉分場 （実施期間）1992年度～1999年度			

[目的及び背景]

平成4年度から実施した第6回系統適応性検定試験において、ナシ筑波41号～48号の8系統について本県における適応性を検討した。平成12年10月25日に筑波45号が「あきあかり」、筑波46号が「秋麗」、筑波48号が「王秋」として命名登録された。

[成果内容]

1. あきあかり

8月中下旬から9月上旬に収穫できる果皮が黄赤褐色の赤ナシである。樹勢は中で、新梢の発生も中である。短果枝の着生およびえき花芽の着生は中程度である。子花が多いため1花そう当たりの花数が多い。開花期は、ほぼ「豊水」と同時期であるが、短果枝とえき花芽の開花時期の差が大きい。「長十郎」、「幸水」、「豊水」、「新高」と親和性がある。

果実は円形で玉揃いは良好であるが、条溝が明瞭に現れ、有てい果の発生が多い。果実の大きさは450g程度になる。果肉は白色、肉質はち密で、果肉硬度は4.3ポンドと柔らかく果汁が多い。果汁糖度は13%を超える。果汁pHは5を超え酸味は感じない。渋味、香気はなく、食味は良好である。日持ち性は室温で14日程度ある。

果梗は太く短い。軸折れ、生理的裂果が発生するが、その程度は少ない。

収量性は、「豊水」より低いものの、「幸水」より高いと思われる。

2. 秋麗

8月中旬から8月下旬に収穫できる果皮が黄緑色の青ナシである。樹勢はやや弱く、新梢の発生は中である。短果枝の着生およびえき花芽の着生はやや多い。開花期は「秀玉」、「幸水」より遅い。「長十郎」、「幸水」、「豊水」と親和性がある。

果実は扁円形で玉揃いは良好であるが、有てい果および肉梗が多少混在する。無袋では果面全体にさびが発生するが、有袋では綺麗な外観に仕上がる。果実の大きさは330g程度になる。果肉は白色で、果肉硬度は5ポンド程度である。果汁糖度は14%を超えて高い。果汁pHは5を超え酸味は感じない。渋味はなく、香気は中程度であり、食味は良好である。日持ち性は室温で7～10日程度ある。

果梗が短い、軸折れの発生は少ない。心腐れ、生理的裂果、みつ症、硬化障害は発生しない。

収量性は、樹勢が弱く、樹冠の拡大が遅いことから初期収量は少ないと思われる。

3. 王秋

10月中下旬に収穫できる果皮が黄褐色の赤ナシである。樹勢は強く新梢は太くて長い。短果枝の着生は多く、その維持も容易である。えき花芽の着生は中程度である。子花が無く1花そう当たりの花数は中程度である。開花期は幸水と同時期である。「長十郎」、「豊水」、「新雪」と親和性があるが、「幸水」とは不親和である。

果実は円楕円形であるが、倒三角形のものも多数混在する。玉揃いは良好である。有てい果は無い。果実の大きさは700g程度と大果になる。果肉は雪白色を呈し、果肉硬度は4ポンド程度と柔らかい。果汁糖度は13%前後になる。果汁pHは4.5前後でやや酸味を感じる。渋味はなく、チュウゴクナシに似た香気を感じ、食味は良好である。日持ち性は室温で30日以上ある。

軸折れ、生理的裂果、硬化障害は認められていない。心腐れ、みつ症が年により発生するが、みつ症果でも貯蔵性は高いと思われる。果色の変化が少なく、収穫適期の判断が難しいが、わずかに後期落果が発生するため、これを収穫始めと判断することができる。

収量性は高く、「新高」以上の収量が期待できる。特に樹勢が強く樹冠の拡大が容易なことから、初期収量は極めて高いと考えられる。

[留意事項]

1. 病害防除は、各品種とも黒斑病には抵抗性であるので、千葉県「農作物病害虫雑草防除基準」の赤ナシに準ずる。
2. 「あきあかり」、「秋麗」は、果梗が太く短いことから、軸折れと、果実の枝ずれを防止するため、横から斜め下向きの花に着果させる。
3. 「秋麗」は果皮が弱く傷つきやすいため、収穫果の取り扱いに注意する。
4. 「王秋」は花芽が多いため、花芽整理、摘蕾、摘花を十分に行う。着果が良好で果実も大きいことから、着果過多にならないよう摘果を行う。
5. 「王秋」の後期落果は、落果防止剤（ストップール3,000倍液の9月下旬散布）で防止できる。
6. 「あきあかり」、「秋麗」の収穫期は、「幸水」、「豊水」と重なり、「王秋」は「新高」の収穫終了後2週間程度期間があく。導入に当たっては、各園の品種構成や販売方法をよく検討する。

[普及対象地域]

県下全域

[行政上の措置]

「秋麗」、「王秋」は、園芸農産課の新品種新果樹導入事業により、県内数戸の農家で試験栽培予定。

[普及状況]

[成果の概要]

第1表 新品種の来歴

品 種	交配年	交配親	系統番号	農林番号	登録年
あきあかり	S59年	162-29×42-6	ナシ筑波45号	ナシ農林20号	平成12年10月25日
秋 麗	S57年	幸 水×筑水	ナシ筑波46号	ナシ農林21号	〃
王 秋	S58年	C2 ×新雪	ナシ筑波48号	ナシ農林22号	〃

注) 162-29は新高×豊水、42-6は雲井×幸水、C2は慈梨×二十世紀

第2表 新品種および対照品種の特性 (農試、原種:1995~1999)

品 種 名	幹周 cm	開花期		収量 kg	収穫期		平均 果 実 品 質			
		始	終		始	終	果重 g	硬度 lbs	糖度 %	pH
幸 水	37.7	4.12	4.21	125	8.9	8.23	303	4.3	12.1	5.19
あきあかり	38.6	4.10	4.23	162	8.14	9.5	456	4.3	13.1	5.41
秋 麗	33.7	4.15	4.25	96	8.15	8.30	330	5.1	14.2	5.19
秀 玉	38.2	4.12	4.22	110	8.27	9.5	406	4.9	13.5	5.16
豊 水	36.1	4.10	4.20	200	8.27	9.15	425	3.8	12.4	4.65
新 高	29.7	4.4	4.18	147	9.19	9.29	629	5.5	11.8	4.88
王 秋	42.3	4.12	4.21	281	10.15	10.26	682	4.3	12.7	4.58
晩 三 吉	34.2	4.15	4.23	174	10.26	11.10	750	4.8	11.0	4.03

注) 開花期、収穫期は農業試験場のデータを用いた。1999年の樹齢は8年生樹。
幹周は1999年の値。収量の平均の欄は累積値。

[発表及び関連文献]

平成4年度～平成11年度果樹系統適応性・特性検定試験成績検討会資料 (落葉果樹)

平成4年度～平成10年度果樹試験成績書 (農業試験場)

平成12年度試験研究成果発表会資料 (果樹)